

自立 敬愛



地域学校協働本部総会を開催

▼6月23日、令和2年度の「市川南小中学校地域学校協働本部」の総会が開催されました。この組織は、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもを支えるとともに、学校を核とした地域の活性化を図るボランティア活動を推進することを目的に、平成29年11月に設立されました。▼またこの協働本部は、今までの地域と学校の連携体制を基盤として、地域にある学校の「支援」から、地域と学校双方向の「連携・協働」を推進し、「個別」の活動から、「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくために、「土日支援部会」「学校支援部会」「放課後支援部会」の3つの部会で、様々な活動を展開してきています。▼この会は大同地区公民館で行う予定でしたが、今年はコロナの関係で、十分なスペースを確保することのできる小中学校体育館で行われ、町より渡井渡教育長と青柳和彦教育アドバイザーにも参加していただきました。



学校からは両校の校長と教頭が、地域からは区長会や公民館活動の代表者をはじめ、読み聞かせや見守り隊といったボランティア活動の代表者等、総勢24名が参加して、まずは全体会が開かれました。全体会では、齊藤正樹本部長のあいさつ、昨年度の経過報告に引き続き、今年度の役員及び部会構成、今後の活動内容が審議され、承認されました。▼引き続き部会が行われ、「土日支援部会」では、昨年度まで行ってきたグランドゴルフ大会や魚のつかみどりなどがコロナの関係で今年度はできなかったこと、また今後予定している敬老会や地域ふれ合いウォーキングなどについても、開催は未定であり、思うような活動が仕組みにくい状況にあることが確認されました。▼「学校支援部会」では、登校時の見守りや農業指導、読み聞かせの会について、「放課後支援部会」では学童保育での楽しい教室の持ち方等についての話し合いが行われました。熱心なご協議、ありがとうございました。

社会科研究授業を実施

▼7月1日、社会科の研究授業が行われました。担任でもある村松紗耶香先生が、3年生を対象に「太平洋戦争の戦局と推移による、人々の生活の変化について考えよう」という目標を掲げ、市川青年学校による学徒出陣や市川小学校高等科女子卒業式といった当時の写真を活用しながら、戦争が人々に与えた惨禍について学習を深めました。▼



本校の校内研究は、「自ら考え、判断し、主体的に行動できる生徒の育成」をテーマに「学び合い、かかわり合い」に重点をおいた学習指導の工夫に取り組んでいます。今回は、コロナの関係でグループ内での話し合いや、学び合いを直接仕組むことはできなかったのですが、個の生徒の発言から、自己の考えを見つめ直し、広めたり深めたりすることができました。▼授業終了後には、講師として招聘した山梨県総合教育センターの萩原義晃指導主事と峡南教育事務所の一瀬清指導主事にも参加していただき、研究会を開催しました。参観した先生方からも、地域教材を使用したり、じっくり考え発表する機会を設けたりすることで、生徒が意欲的に取り組んでいた等の意見が出されました。また、小学校での担任でもあった一瀬指導主事からは、「盛り沢山の授業内容を集中して取り組んでいる3年生の姿を見て、著しい成長を感じた。」という喜びの感想も聞かれました。

全校で花を植えました

▼6月29日の放課後、美化委員会主催の全校花植作業が行われました。短い時間でしたが用意された、サルビア、マリーゴールド、サフィニア、ペゴニア、日々草といった夏用の花をプランターに植え込みました。

